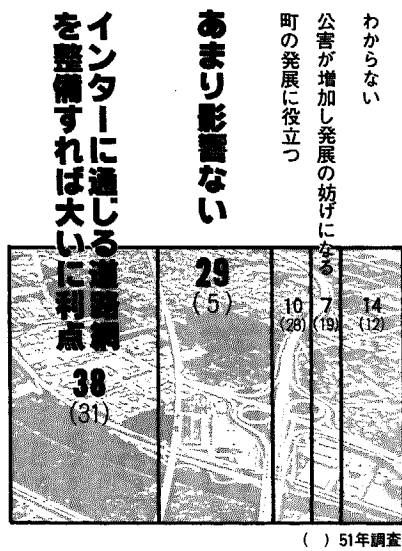


⑨ 関越自動車道が町に与える影響



市街化区域は広げない
43%、広げる 32%

工場、住宅、商店など市街化を進める区域と市街化調整区域（主に農地、市街化をおさえる区域）に分かれています。市街化区域はさらに工場、商店、住宅などに細分化されています。

工場団地を造る場合、市街化調整区域を市街化区域にする必要があり、これには種々の条件があつて難しいのです。住宅地は住宅地で、工場は工場で、農地は農地でまとめた、町はその検討を「長期総合計画」でしています。

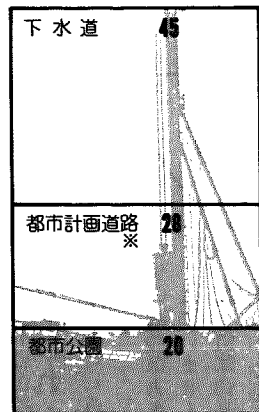
発展

⑩ 高速道活用に新町道

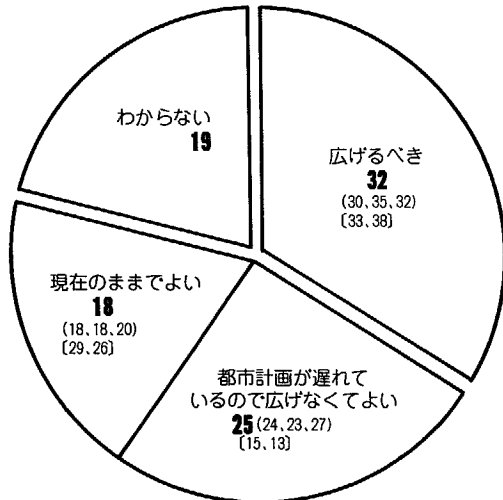
⑩は51年調査と比較すると興味深い結果です。あまり影響ないが5%から29%に上昇、発展に役立つが19%から7%に下がりました。出来てみたらこうだったということでしょうか。しかし、関越は確実に町に影響を与えています。インター付近にはトラックステーション、大手流通企業が進出しているのはご承知のとおりです。

町は西バイパスの促進や新町道（鳥原寺地線、立仏14号線）に着手し、高速道の有効利用を図っています。

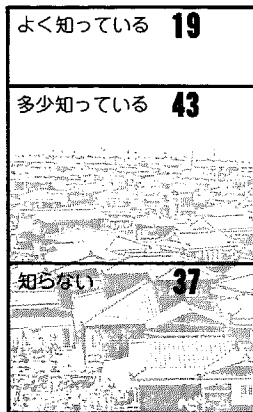
⑫ 都市施設でいちばん早急に整備を望むものは



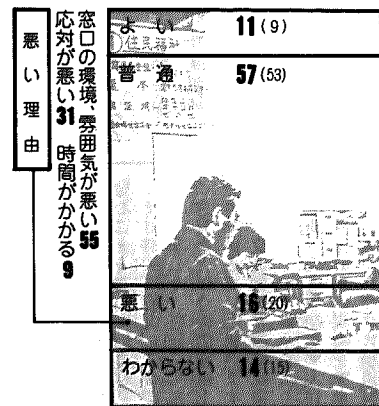
⑪ 市街化区域を増やすべきか



⑩ 黒崎町は市街化区域と市街化調整区域に分けられていますが知っているか。



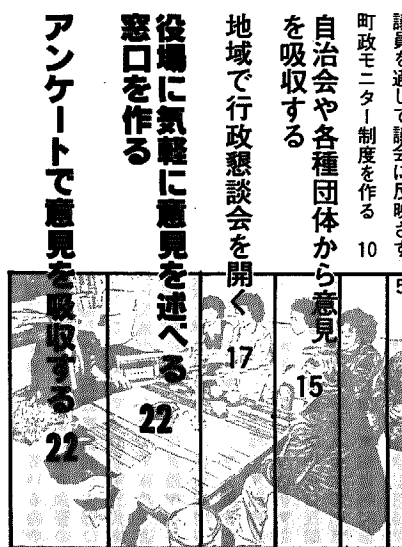
⑮ 役場の窓口サービスは



⑮ 広報くろさきを



⑭ 町民の声を町政に反映させるには



開発

60年6月議会で「工場誘致条例」が制定されました。これは、黒崎町に進出する企業、町内の工場が増設移転する場合、固定資産税の軽減などの措置をとるものです。

企業を誘致する理由は、町民の雇用の場、町税を増やし町を活性化させるためです。

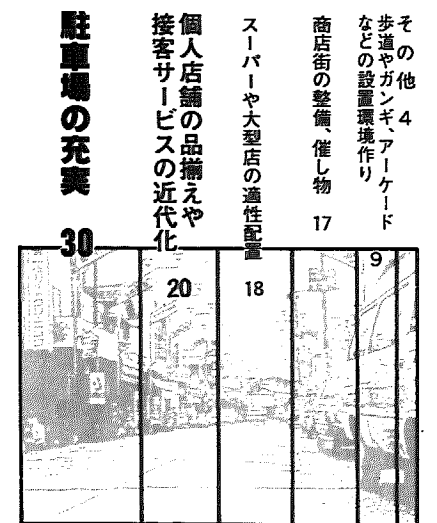
⑧のとおり、工業団地を作り企業を誘致——賛成63%、反対18%です。51年調査でも同じ質問をしています。賛成

企業誘致の反対の理由は居住環境が悪化がトップの40%です。住宅地の隣に工場が出来た—これでは困ります。そこで都市計画が重要になってきます。都市計画はどこに家を建て、商店街を形成し、学校や公園はどこにするなどを決めます。黒崎町の場合、新鴻都市圏に入り、市街化区域

都市計画をしつかり

企業誘致の反対の理由は居住環境が悪化がトップの40%です。住宅地の隣に工場が出来た—これでは困ります。そこで都市計画が重要になってきます。都市計画はどこに家を建て、商店街を形成し、学校や公園はどこにするなどを決めます。黒崎町の場合、新鴻都市圏に入り、市街化区域

⑦ 大野町の商店街がより魅力ある街になるには

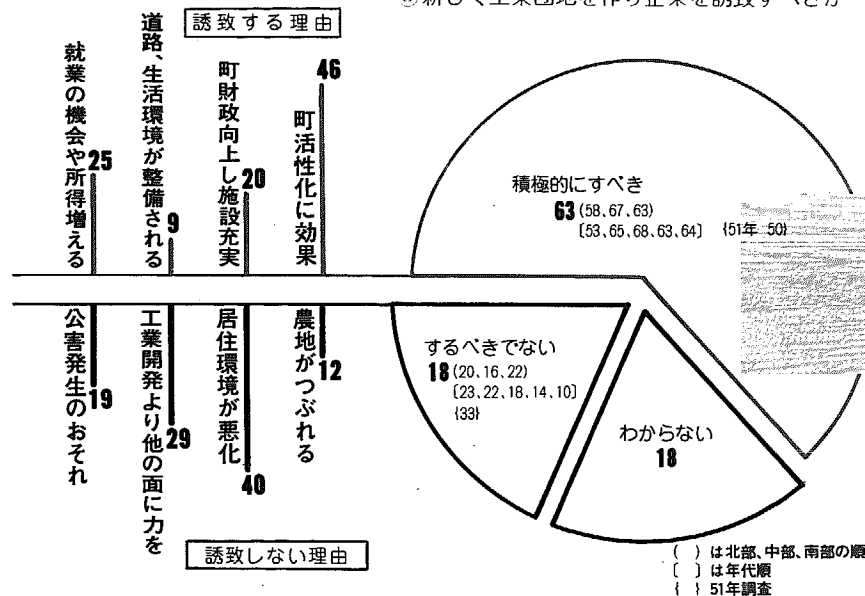


新しく工業団地を作り 企業を誘致すべき—63%

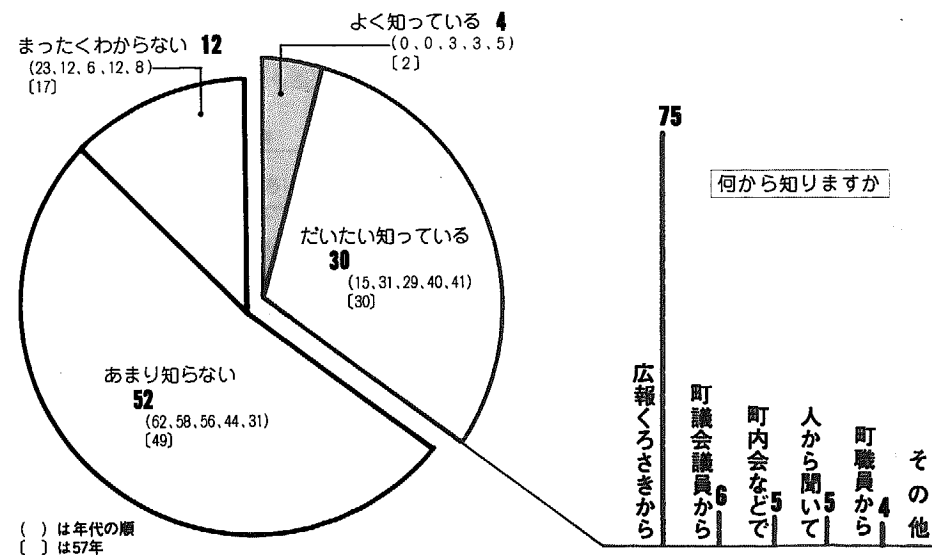
工場誘致条例を制定

60年6月議会で「工場誘致条例」が制定されました。これは、黒崎町に進出する企業、町内の工場が増設移転する場合、固定資産税の軽減などの措置をとるものです。

⑧ 新しく工業団地を作り企業を誘致すべきか



⑬ 町政の動きを知っていますか



町民の声

町政の動きを知らない64%

行革時代の今日、長室を開いています。町民の声を反映した町政が、最小経費で最大効果を上げる最も有効な手段です。⑭のアンケート調査を—ですが、この調査の回答率は31.5%でした。

しかし、町政を知らない人が64%を占めました。関心が薄いのでしょうか。⑭のアンケート調査を—ですが、この調査の回答率は31.5%でした。